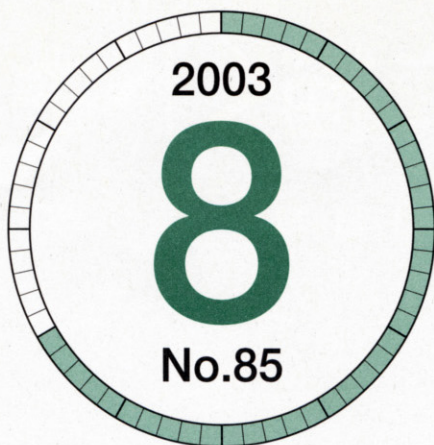


シネマ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

Ciné-là



シネラニュース

🎥 収蔵映画特集

- ・アジアを描くドキュメンタリー
- ・アニメーション特集



「長靴をはいた猫」

アジアを描くドキュメンタリー

「よみがえれカレス」 「カラコルム」 「メソポタミア」 「旅するパオジャンフー」 「SAWADA サワダ」
「祈祷師」 「平和の行進」 「ゴビを渡るフィルム」 「ハルハ河の英雄的な貢^ベ」 「Ha Ha 上海」

アニメーション特集

「長靴をはいた猫」 「ながぐつ三銃士」 「太陽の王子・ホルスの大冒険」 「11ぴきのねこ」
「こねこのらくがき」 「夢見童子」 「こねこのスタジオ」 「ねずみのよめいり」 「すて猫トラちゃん」
「ムクの水の話」 「くじら」 「幽霊船」 「ある街角の物語」 「JUMPING」 「おんぼろフィルム」
「チコタン・ぼくのおよめさん」 「モチモチの木」 「あれはだれ？」 「ちからばし」 「虹に向かって」



「旅するパオジャンフー」

アジアを描くドキュメンタリー

会 期:平成15年8月6日(水)～8月17日(日)

※休館日・休映日除く

観覧料:500円(大人)400円(大学生・高校生)300円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制。※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

今回の上映作品はアジア各地で撮影されたドキュメンタリーを集めたものです。「カラコルム」「メソポタミア」は学術記録的なドキュメンタリーですが、当時は劇場でも公開され大きな評判となったものです。また近年のアジアを知る上で興味深い作品が数多く、タリバン以前のアフガニスタンの記録である「よみがえれカレズ」、現代中国の不思議を描いた「Ha Ha 上海」、ネパールの「祈禱師」、カンボジアの「平和の行進」、モンゴルの「ゴビを渡るフィルム」などそこに生きる人々がみごとに描かれています。「ハルハ河の英雄的な頁」と「SAWADA サワダ」は戦争を告発する作品ですが、モンゴルやベトナム、カンボジアで撮影された場面が多く含まれています。劇映画とは違う生の息づかいを感じることができるのではないのでしょうか。



よみがえれカレズ

Afghan Spring

8月6日(水) 14:00 / 8月9日(土) 11:00 / 8月15日(金) 14:00



88年春、10年に渡る政府軍と反政府ゲリラとの戦い「アフガン紛争」に、解決の糸口があたえられる。本作は88年春から秋にかけて撮影されたアフガニスタンの記録である。「カレズ」とは、アフガニスタンの人々に水を供給する地下水路のことで、戦火を生き延びるアフガニスタンの人々への希望を象徴する。

1989年/16ミリ/カラー/ドキュメンタリー/117分/記録社=シグロ/
監督:土本典昭、熊谷博子、アブドゥル・ラティフ

カラコルム

Karakoram

8月7日(木) 14:00 / 8月17日(日) 11:00



1955年春、京都大学カラコルム・ヒンズークシ学術探検隊が、約3万キロの道のりを踏破した際のドキュメンタリー。この地域の探検としては日本で初の試みであり、ヒマラヤの雄大な自然の景観、そこに住む人々の生活などが、学術的な観点から記録されている。

1956年/35ミリ/カラー/ドキュメンタリー/79分/日本映画新社/製作:堀場伸世

メソポタミア

Mesopotamia

8月7日(木) 19:00 / 8月16日(土) 11:00



東京大学イラク・イラン遺跡調査団による、メソポタミア地方古代遺跡の発掘を記録した作品。テグリス・ユーフラテス河近辺に点在する数々の遺跡、部族や遊牧民の生活、遺跡の発掘作業などが描かれる。また本作は日本初のカラーシネマスコープ・ドキュメンタリー映画である。

1957年/35ミリ/カラー/ドキュメンタリー/72分/日本映画新社/構成・編集:桑野茂

旅するパオジャンパー

The Wandering Peddlers

8月14日(木) 14:00 / 8月16日(土) 14:00



旅先で口上を述べ、歌ったり踊ったりしながら菓子を売る台湾の伝統的職業・パオジャンパー。実在のパオジャンパーであるイエさん一家の長男アホンは、跡継ぎを期待されているが、あまり若に興味が無い。しかし色々なパオジャンパー達との交流の中で次第に決心を固めていく。イエさん一家を中心に、三組のパオジャンパーの物語が描かれる作品。

1995年/35ミリ/カラー/ドキュメンタリー/94分/SONY/日本語字幕付き/
監督:柳町光男

SAWADA サワダ

SAWADA

8月8日(金) 14:00 / 8月15日(金) 11:00 / 8月17日(日) 14:00



1965年単身ベトナムに渡り、ベトナム戦争を告発する写真を取り、66年ピュリッツァー賞を受賞したカメラマン沢田教一。通信社時代の同僚や先輩、世界各国のジャーナリスト達の証言を交えて、70年にブノンペンで狙撃されて亡くなるまでの、沢田教一の生涯に迫っていく。

1996年/16ミリ/カラー/ドキュメンタリー/114分/グループ現代=みちのく銀行/
監督:五十嵐匠

8月8日(金) 19:00 / 8月10日(日) 11:00

祈禱師

The Spirit Doesn't Come Anymore



ヒマラヤ山脈の麓に位置するチベット人集落。13代続いた祈禱師である78才のパオの顔色は冴えない。息子のカルマが親に反抗し、祈禱師を継ぐ意志がないからである。パオの村の中での特殊な立場や、親子の葛藤を描いたドキュメンタリー。

1997年/ビデオ/カラー/ドキュメンタリー/38分/ネパール/日本語・英語字幕付き/
監督:ツェリン・リタル・シェルバ

平和の行進

An Army of Peace



1997年3月から4月にかけてカンボジアで行われたダンマヤトラ(法の巡礼)を描いたドキュメンタリー。300人を越える僧侶達が、ポルポト政権後の傷ついた人々の住む街を、平和を祈願しながら行進していく。

1997年/ビデオ/カラー/ドキュメンタリー/52分/カンボジア/日本語・英語字幕付き/
監督:チェン・ダラブッド・コルサ

8月10日(日) 14:00 / 8月14日(木) 11:00

ゴビを渡るフィルム

A Vanishing Trade



モンゴルに実在する映写技師、ハラフー・ジャージャーの活動の記録。彼はラクダに映画フィルムと映写機を乗せ、モンゴル中を旅して、遊牧民の中で映画を見せていく。映画を見る喜びと、待ちわびた彼が来たときの人々の顔が印象的な作品。

2001年/ビデオ/カラー/ドキュメンタリー/23分/モンゴル/日本語・英語字幕付き/
監督:D.ツェンドルジ、T.サラントヤ

ハルハ河の英雄的な頁

The Heroic Pages From The History of The Haruha River Region



1939年5月、日本・満州軍はモンゴル・ソ連軍と国境線を超えて戦った。この戦争は日本では「ノモンハン事件」と呼び、その真相は長く知られなかった。モンゴルではこの戦いを「ハルハ河戦争」と呼びその勝利を讃えている。91年日本人慰霊団がモンゴルを訪れたことを契機に作られたドキュメンタリーである。

1991年/16ミリ/カラー/ドキュメンタリー/72分/モンゴル=日本/
日本語ナレーション付き/監督:D.トゥメンバヤル、P.ナラントヤ

Ha Ha 上海

Ha Ha Shanghai

8月9日(土) 14:00 / 8月13日(水) 14:00



上海の旧フランス租界にある古いマンションに監督の一家は1962年まで住んでいた。30年ぶりに上海を訪れた彼女は、思い出のマンションを再び手に入れようとする所有者を探し始める。彼女は文革の残した傷や官僚制の不条理に直面するのだった。中国という巨大な国の側面を描いた秀逸なドキュメンタリーである。

2001年/ビデオ/カラー/ドキュメンタリー/76分/香港=アメリカ/日本語・英語字幕付き/
監督:クリスティン・チョイ

アニメーション特集

会 期:平成15年8月20日(水)~8月31日(日)

※休館日・休映日除く

観覧料:500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制。※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

※小学生未満のお子様は無料です。

夏休み恒例の親子で楽しめるアニメーション作品を収蔵作品の中より選んで特集。宮崎駿や高畑勲が在籍していた頃の東映動画の長編アニメや手塚治虫の短編アニメーションなどを含む多彩な作品を上映いたします。



「ながづつ三銃士」

長靴をはいた猫

8月20日(水) 11:00 / 8月28日(木) 11:00 / 8月30日(土) 14:00



昭和40年代を代表する東映動画の名作。有名なペロの原作童話を井上ひさしが脚色、かわいらしいキャラクター達が魔王を倒すために画面狭しと大活躍する。美しいローザ姫のもとに現れた魔王・ルシファーは、三日後に姫と結婚すると王様達に宣言する。それを知った猫のペロは青年・ピエールを公爵と偽らせ、姫の婿にと推薦する。しかし姫は魔王にさらわれ、ペロとピエールは彼女の救出に向かう…。

1969年/35ミリ/カラー/80分/東映動画/演出:矢吹公郎

太陽の王子・ホルスの大冒険

8月21日(木) 11:00 / 8月24日(日) 14:00 / 8月30日(土) 11:00



東映動画の最高傑作という人も多い日本長編動画を代表する名作。北欧神話とアイヌの伝承をもとにしたオリジナル・ストーリーはドラマチックな展開であり、大人も充分楽しめる作品となっている。遠い昔、北の国にホルスという少年がいた。人間の村を求めて旅を続けるホルスは、偶然にも「太陽の剣」を手に入れる…。

1968年/35ミリ/カラー/82分/東映動画/演出:高畑勲

ながづつ三銃士

8月20日(水) 14:00 / 8月27日(水) 11:00 / 8月31日(日) 14:00

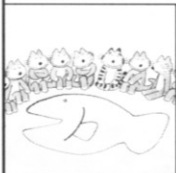


「長靴をはいた猫」と同じ猫のペロを主人公としたコミカルなアクション動画。デューマの「三銃士」とは関係なく、殺し屋に追われたペロがアメリカは西部にたどり着き、大活躍する西部劇仕立ての作品。町の悪徳ボスのために父を殺された少女・アニーを助けるため、ペロは連邦保安官のジミー少年とネズミのインディアンと協力して…。

1972年/35ミリ/カラー/53分/東映動画/演出:勝間田具治

11匹きのねこ

8月21日(木) 14:00 / 8月27日(水) 14:00 / 8月31日(日) 11:00

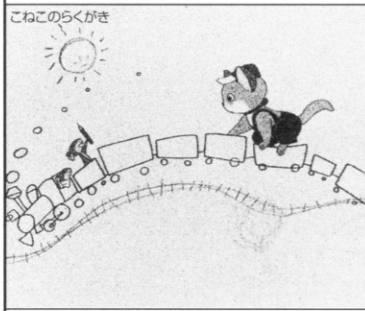


馬場のぼろの絵本を原作としたアニメ。主人公のトラネコ大将の声を郷ひろみがアテている。トラネコ大将を中心とするいたずら者の11匹の猫は「大きなサカナ」の登場する昔話を聞いて、そのサカナを探す探検に出発する。吹雪の山を越え、蜂に追いかけられたりしながらも11匹は協力して難関を乗り越えていくのだった…。

1980年/35ミリ/カラー/84分/ヘラルドエンタープライズ=グループ・タック/演出:藤本四郎

東映動画初期の短編動画集

8月22日(金) 11:00 / 8月24日(日) 11:00



東映動画発足前後には長編動画のための試作や新人の登用の試験などをかねて、短編動画をいくつも手掛けている。こうした初期の東映動画の短編作品の名作選。

こねこのらくがき

1957年/35ミリ/モノクロ/13分/
東映教育映画部/演出:敷下泰次

夢見童子

1958年/35ミリ/カラー/15分/
東映教育映画部/演出:落谷虹児

こねこのスタジオ

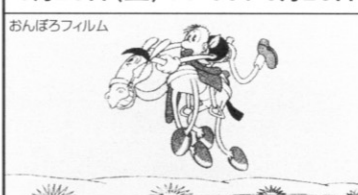
1959年/35ミリ/カラー/16分/東映動画/
演出:森やすじ

ねずみのよめいり

1961年/35ミリ/カラー/13分/東映動画/
演出:白川大作

手塚治虫短編動画集

8月23日(土) 11:00 / 8月28日(木) 14:00



「ある街角の物語」は手塚治虫が虫プロを立ち上げたとき、その第一作として作った中編作品。「JUMPING」と「おんぼろフィルム」は晩年、個人で動画製作を再開した手塚の代表作。いずれも視覚的な実験とともに手塚らしいヒューマニズムやユーモアが感じられる。

ある街角の物語

1962年/35ミリ/カラー/39分/
虫プロダクション/演出:手塚治虫

JUMPING

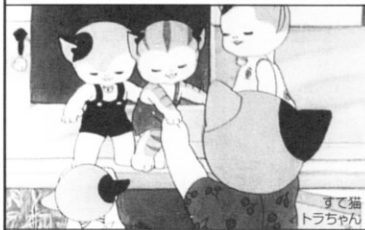
1984年/35ミリ/カラー/6分/
手塚プロダクション/演出:手塚治虫

おんぼろフィルム

1985年/35ミリ/パートカラー/6分/
手塚プロダクション/演出:手塚治虫

東宝教育映画と千代紙映画社

8月22日(金) 14:00 / 8月29日(金) 14:00



東宝教育映画社は東宝争議が解決した1948年にその解決案の一つとして設立された会社であり、教育映画とともに動画にも力を入れていた。千代紙映画社は戦前から独自のスタイルで活動を続けた大藤信郎の個人プロダクション。「くじら」「幽霊船」ともカラー・セロファンを使った影絵動画であり、海外で高く評価された。

すて猫トラちゃん

1947年/16ミリ/モノクロ/21分/
東宝教育映画/演出:政岡憲三

ムクの木の話

1947年/16ミリ/モノクロ/20分/
東宝教育映画/演出:丸山章治

くじら

1952年/35ミリ/カラー/8分/
千代紙映画社/演出:大藤信郎

幽霊船

1956年/35ミリ/カラー/11分/
千代紙映画社/演出:大藤信郎

岡本忠成作品集

8月23日(土) 14:00 / 8月29日(金) 11:00

岡本忠成はCMや教育映画などの分野で活躍しながら、手法や素材に凝った実験的な作品を数多く発表している。その岡本の代表作による作品集。



モチモチの木

1972年/35ミリ/カラー/17分/KKエコー/演出:岡本忠成



ちからばし

1976年/35ミリ/カラー/11分/KKエコー/演出:岡本忠成



チコタン・ぼくのおよめさん

1971年/35ミリ/カラー/11分/学研/演出:岡本忠成



あれはだれ?

1976年/35ミリ/カラー/21分/KKエコー/演出:岡本忠成



虹に向かって

1977年/35ミリ/カラー/18分/KKエコー/演出:岡本忠成

1 金	休 映 日
2 土	休 映 日
3 日	自主上映「ノー・マンズ・ランド」
4 月	休 館 日
5 火	休 映 日
6 水	[14:00] よみがえれカレース
7 木	[14:00] カラコルム [19:00] メソボタミア
8 金	[14:00] SAWADA サワダ [19:00] 祈禱師・平和の行進
9 土	[11:00] よみがえれカレース [14:00] Ha Ha 上海
10 日	[11:00] 祈禱師・平和の行進 [14:00] ゴビを渡るフィルム・ハルハ河の英雄的な真
11 月	休 館 日
12 火	休 映 日
13 水	[14:00] Ha Ha 上海
14 木	[11:00] ゴビを渡るフィルム・ハルハ河の英雄的な真 [14:00] 旅するパオジャンフー
15 金	[11:00] SAWADA サワダ [14:00] よみがえれカレース
16 土	[11:00] メソボタミア [14:00] 旅するパオジャンフー
17 日	[11:00] カラコルム [14:00] SAWADA サワダ
18 月	休 館 日
19 火	休 映 日
20 水	[11:00] 長靴をはいた猫 [14:00] ながぐつ三銃士
21 木	[11:00] 太陽の王子・ホルスの大冒険 [14:00] 11ぴきのねこ
22 金	[11:00] 東映動画初期の短編動画集 [14:00] 東宝教育映画と千代紙映画社
23 土	[11:00] 手塚治虫短編動画集 [14:00] 岡本忠成作品集
24 日	[11:00] 東映動画初期の短編動画集 [14:00] 太陽の王子・ホルスの大冒険
25 月	休 館 日
26 火	休 映 日
27 水	[11:00] ながぐつ三銃士 [14:00] 11ぴきのねこ
28 木	[11:00] 長靴をはいた猫 [14:00] 手塚治虫短編動画集
29 金	[11:00] 岡本忠成作品集 [14:00] 東宝教育映画と千代紙映画社
30 土	[11:00] 太陽の王子・ホルスの大冒険 [14:00] 長靴をはいた猫
31 日	[11:00] 11ぴきのねこ [14:00] ながぐつ三銃士

アジアを描くドキュメンタリー

アニメーション特集

アーカイヴ NeWs

高倉健さん 総合図書館を訪問

さる6月12日(木)、高倉健さんが図書館を訪問されました。突然の訪問の連絡に、映像資料課一同大慌てで訪問準備をすることになりましたが、こんなうれしい連絡ならばいつでも大歓迎といったところ。高倉健さんが図書館を訪問された理由は、昨年図書館が高倉健さん収蔵の16ミリ映画を預かっていた事、「高倉健映画祭」の開催の御礼、そしてぜひ一度図書館の施設を見てみたいと思われたことからです。

「高倉健映画祭」は1月に「第一部」、3月に「第二部」、4月に「第三部」とのべ6週間にわたり、寄託していただいた高倉健さんの出演作品を上映しました。総入場者数は6,624人にものぼり、一企画の入場者数としてはシネラ始めて以来の最高の記録となりました。改めて郷土の



高倉健さんと映写技師の柏木さん

ヒーローである高倉健さんの人気の高さを認識することとなりました。もちろん高倉プロモーションにも結果は報告済みでした。

12日は朝からの雨で、訪問予定時間を20分すぎてもそれらしき車は現れず、もしかしてドタキャンとなったのではと不安がよぎり出した頃、高倉健さん一行は到着されました。車から降りると「おはようございます。」と明るい声で挨拶され、その瞬間いまでの仕事の苦労がいっぺんに吹き飛んでしまいました。次の予定があるとのことで、図書館滞在はわずか40分ほどでしたが、総合図書館の館長、部長と挨拶され、フィルム収蔵庫と映像ホール・シネラを見学されました。総合図書館の映画保存事業、特にアジア映画の上映と保存への取り組みには感心され、「福岡市は素晴らしい仕事をされていますね。」との言葉をいただきました。シネラの椅子に腰掛けて、「今度来るときにはここで映画がみたい。」とも言っていました。最後にスタッフ一同との記念写真をお願いすると快く応じて頂きました。

私は映画の中の高倉健さんしか知りませんでしたが、初めてお会いして感じたことは、映画の中の寡黙なイメージと少し違って、よく話をされることでした。それでも男らしく誠実な感じは映画そのままで、何と言ってもあの声で話をされるとそれだけで自分も映画の中に居るような気がしてきます。我々スタッフにとっては正に夢のような40分でした。

八尋義幸(映像資料課学芸員)

インフォメーション

シネラニュース送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成15年9月号～平成16年4月号までの郵便切手(90円×8ヶ月)を同封の上、下記宛先へお申送ください。

■宛先:〒814-0001福岡市早良区百道浜3-7-1 福岡市総合図書館 映像資料課

ビデオ編集技術研究室のご案内

ビデオ研究室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄)
※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

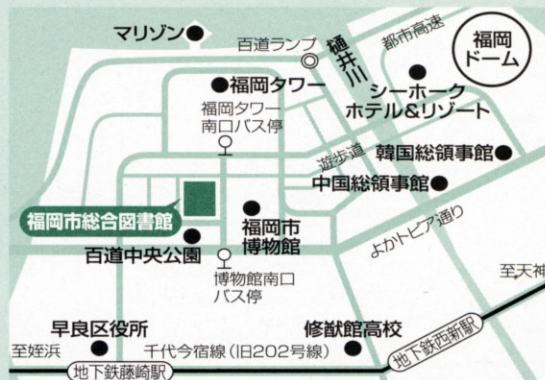
団体の自主上映について

■8月3日(日)11:00/13:00/15:00 「ノー・マンズ・ランド」
(監督:ダニス・タノヴィッチ)

観覧料/一般前売券:1,200円(当日:1,400円、シニア:1,000円)

主 催/福岡映画サークル協議会(TEL781-2817)

*自主上映の詳細については、直接主催者にお問い合わせください。



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地 下 鉄:
西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス:
天神～都市高速経由～
福岡タワー南口
(所要時間:昼間で約20分)

博多駅～都市高速経由～
福岡タワー南口
(所要時間:昼間で約25分)

福岡タワー南口バス停から徒歩3分

いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話:733-3333)に直接お問い合わせください。

公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力をいただきますようお願いいたします。

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

デザイン/株式会社ホワイスペース 印刷/株式会社修文堂印刷